

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月29日

計画の名称	本庄市安全・安心な公園づくり計画（防災・安全）											
計画の期間	平成29年度～令和02年度（4年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	本庄市											
計画の目標	本庄市では多くの公園が開園から20年以上経過し、設備や遊具、トイレ、柵といった公園施設が老朽化し、バリアフリーにも適合していない状況である。 このような状況から、都市公園の長寿命化計画を策定し、ライフサイクルコストの低減、計画的な改築・更新、バリアフリー化等を実施することにより、多様な公園利用者が安全・安心に利用できる公園整備を目指す。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	249	A	249	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	公園施設長寿命化計画の策定率を0%（H29当初）から90%（H32末）にする 公園施設長寿命化計画策定済み都市公園の割合 (割合%) = (策定公園数(か所)) / (対象都市公園数(か所)) (30か所)	0%	90%	90%
2	長寿命化計画に基づく改修・更新を実施した都市公園の割合を0%（H29当初）から74%（H32末）にする 長寿命化計画に基づき改築・更新した都市公園の割合 (割合%) = (実施公園数(か所)) / (策定公園数(か所)) (27か所)	0%	7%	74%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
1. 策定公園数 ・ 中間目標値：27か所 ・ 最終目標値：27か所 2. 実施公園数 ・ 中間目標値：2か所 ・ 最終目標値：20か所												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	本庄市	直接	本庄市	-	-	本庄市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画策定(27か所)、長寿命化対策(本庄総合公園等4か所における公園施設等の改築)	本庄市						155		策定済
		長寿命化計画策定(20百万円) 長寿命化対策(150百万円)																	
	A12-002	公園	一般	本庄市	直接	本庄市	-	-	本庄市都市公園安全・安心対策事業(5か年老朽)	公園施設の改築更新 N=18公園	本庄市						94		策定済
											小計						249		
											合計						249		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 本庄市都市整備部都市計画課	事後評価の実施時期 事業完了後
	公表の方法 本庄市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本庄総合公園は野球場や体育館、多目的グラウンド等を保有する本庄市を代表する総合公園であり、公園施設長寿命化計画に基づき施設の改築更新を進めてきたことにより、施設の利便性が向上し、利用者数が増加傾向にある。また、その他対象公園において遊具の改築更新による老朽化対策を行ったことにより、利用者の安全確保に繋がった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も公園施設長寿命化計画に基づき点検等を行い、計画的な公園施設の改築更新を行うことで、安全・安心な公園づくりを進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	割合（％）＝（策定公園数（か所） / （対象都市公園数（か所））（30か所）	
	最終目標値	90%
	最終実績値	90%
2	割合（％）＝（実施公園数（か所） / （策定公園数（か所））（27か所）	
	最終目標値	74%
	最終実績値	52%

本庄総合公園において、改築更新対象となる施設が当初想定していた施設数よりも多く、複数年において改築更新を行ったため、他の対象公園の改築更新に遅れが生じ、目標値と差が出たもの。今後も公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の改築更新を進めていく予定である。